

日本航空株式会社
2013年3月期
第2四半期決算説明会



2013年3月期 第2四半期 業績サマリー

- 第2四半期決算 業績概況 P.3
- 2013年3月期通期 業績見通しの変更 P.4
- 中期経営計画の推進 P.5
- 費用効率化の進捗状況 P.6

2013年3月期 第2四半期 業績詳細

- 連結経営成績 P.8
- 営業利益増減の推移 P.9
- 国際旅客事業 P.10-11
- 国内旅客事業 P.12-13
- 主要営業費用項目 P.14
- 財務状況 P.15
- キャッシュフロー P.16

2013年3月期通期 業績予想

- 連結業績 P.18
- 予想連結営業利益の修正 P.19
- 連結貸借対照表／キャッシュフロー P.20

参考資料

- 国際線収入大路別実績 P.22
- 2013年3月期業績予想(航空運送事業) P.23
- 航空機保有数の推移 P.24
- 路線・便数計画の更新情報 P.25



JAPAN AIRLINES

2013年3月期 第2四半期 業績サマリー

第2四半期決算 業績概況

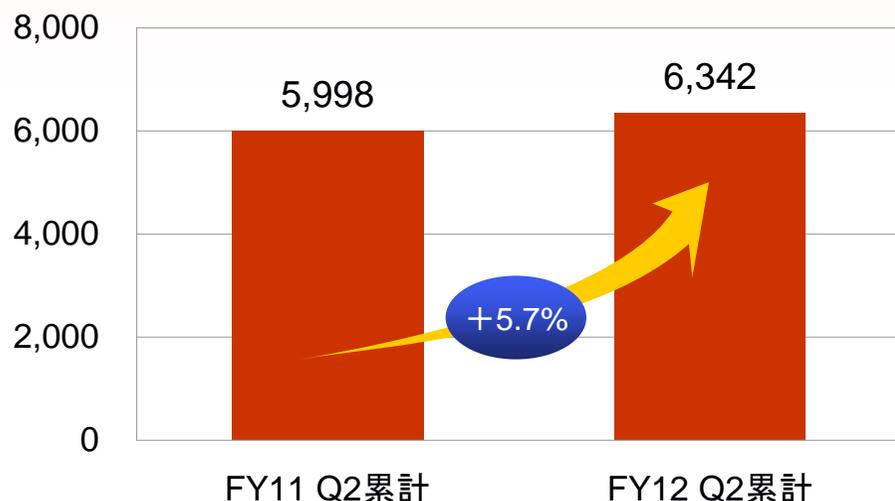


JAPAN AIRLINES

- ✓ 第2四半期累計の営業利益は1,121億円となり(前年同期比で+5.7%)、高い営業利益率を維持
- ✓ 自己資本比率は41.7%に達し、財務基盤を更に強化

営業収益

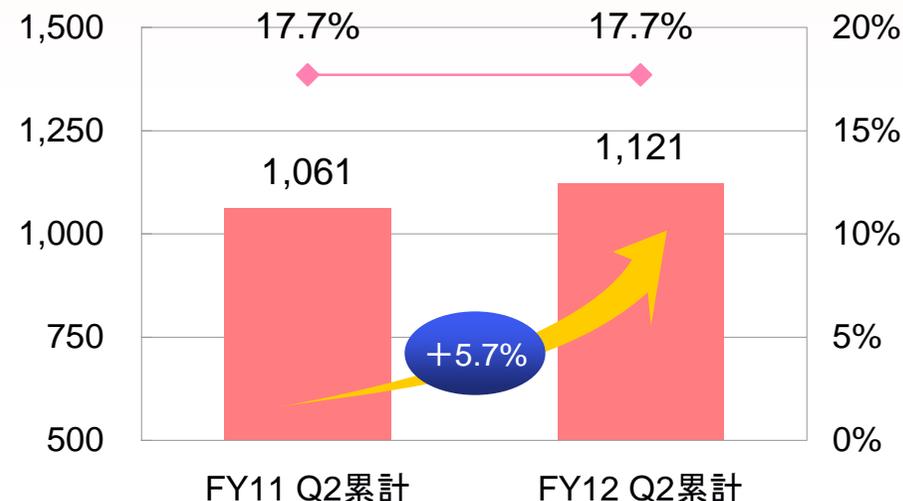
(単位:億円)



営業利益

(単位:億円)

営業利益率

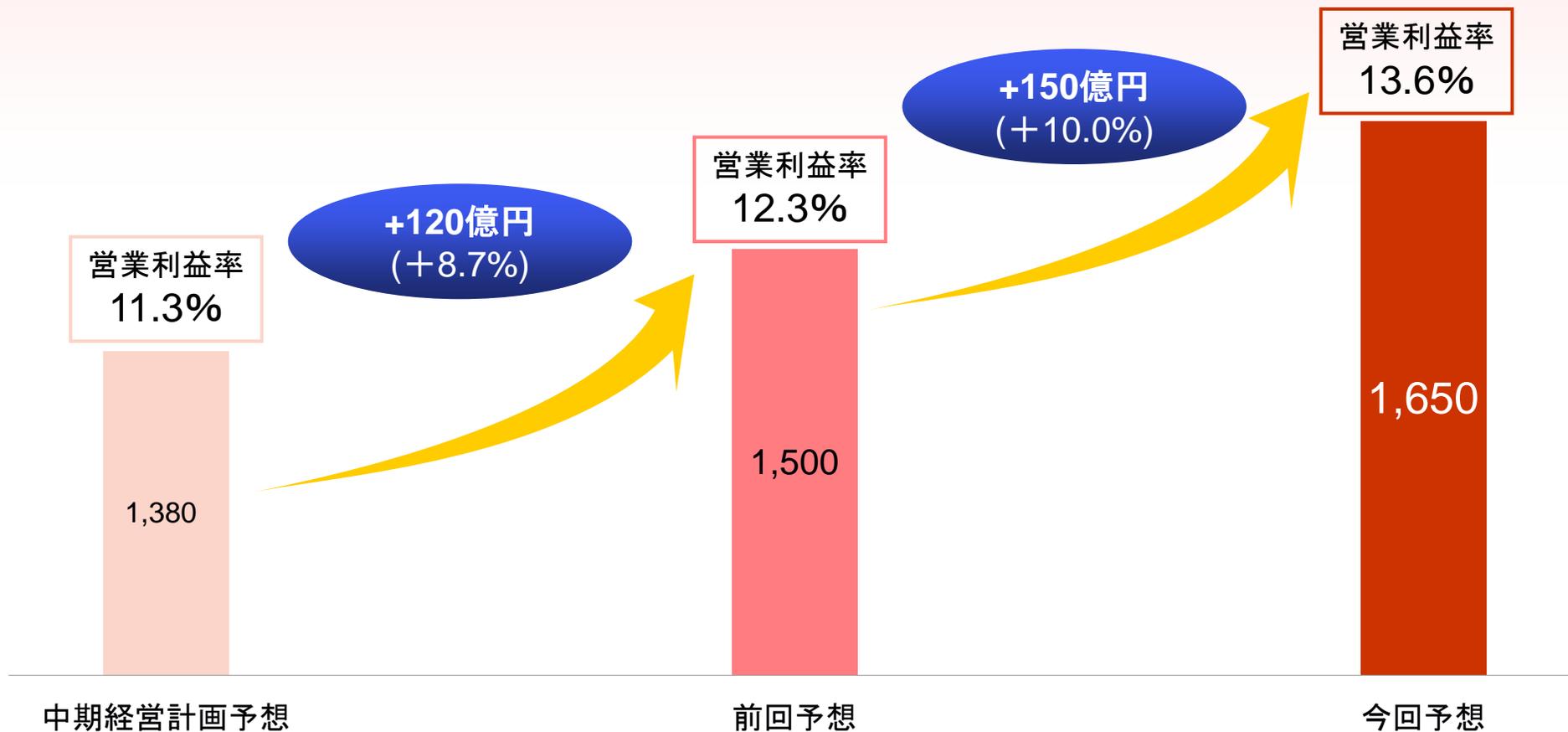


	前年度末 2012/3/31	当四半期末 2012/9/30	前年度末差
自己資本比率 (%)	35.7%	41.7%	+6.0pt



営業利益の上方修正

(単位: 億円)



路線ネットワーク

- ✓ ボーイング787によるボストン線は第2四半期も引き続き好調
- ✓ 成田＝ボストン線の有償座席利用率: 83.6%
(国際線全体の座席利用率: 76.2%)

- ✓ 成田＝サンディエゴ線
2012年12月2日運航開始
- ✓ 成田＝ヘルシンキ線
2013年2月25日運航開始



- ✓ ブリティッシュ・エアウェイズとの共同事業
2012年10月1日開始



- ✓ 福岡＝花巻線 運航再開
- ✓ 札幌＝新潟線 運航再開



新商品・サービス

- ✓ ～ JAL New Sky Project～
2013年1月国際線新商品・サービス導入
「1クラス上の最高品質」



- ✓ 国内線ファーストクラス
羽田＝沖縄線 導入
- ✓ クラスJ 設置機材拡大



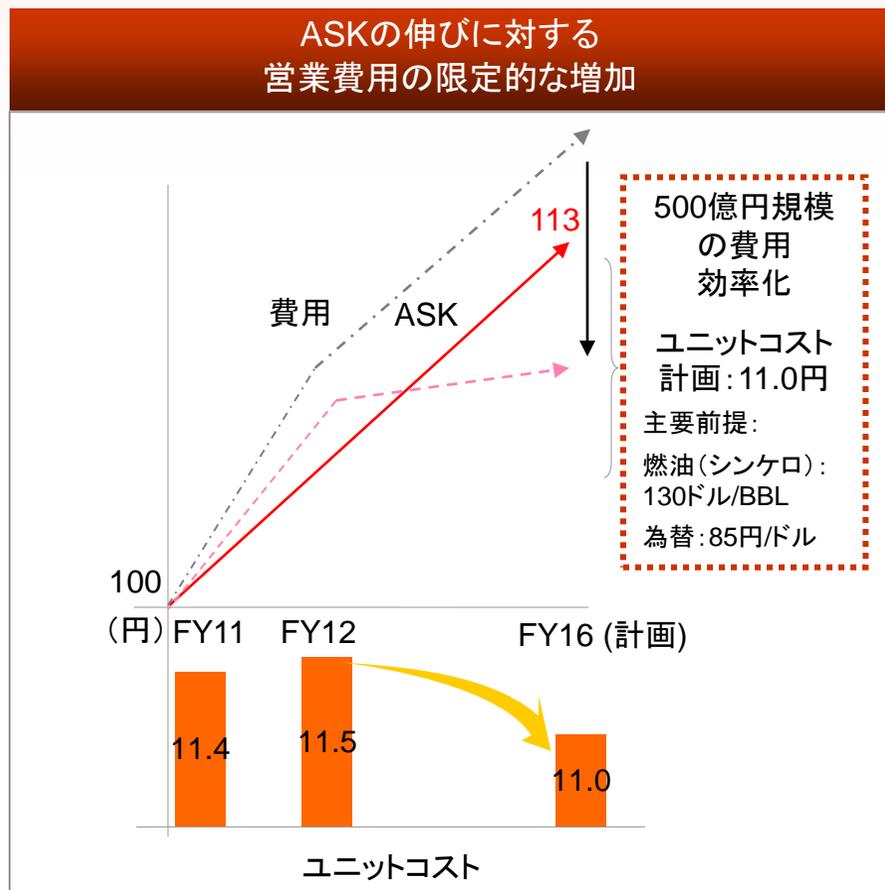
部門別採算制度

- ✓ 部門別採算制度をグループ会社に展開 年度内導入目標 8社
- ✓ 10月10日～11月17日中国路線は需要減に対して機動的な供給調整を即座に実施
→ 業績見通しへの影響を最小限に抑制



費用効率化の進捗状況

- ✓ 中期経営計画目標のユニットコスト⁽¹⁾ FY16 11.0円を目指し、費用効率化を推進
- ✓ 第2四半期累計のユニットコストは11.5円、今年度計画値11.5円は達成する見込み
- ✓ 第2四半期累計で50億円の費用効率化を達成(通期予想100億円)



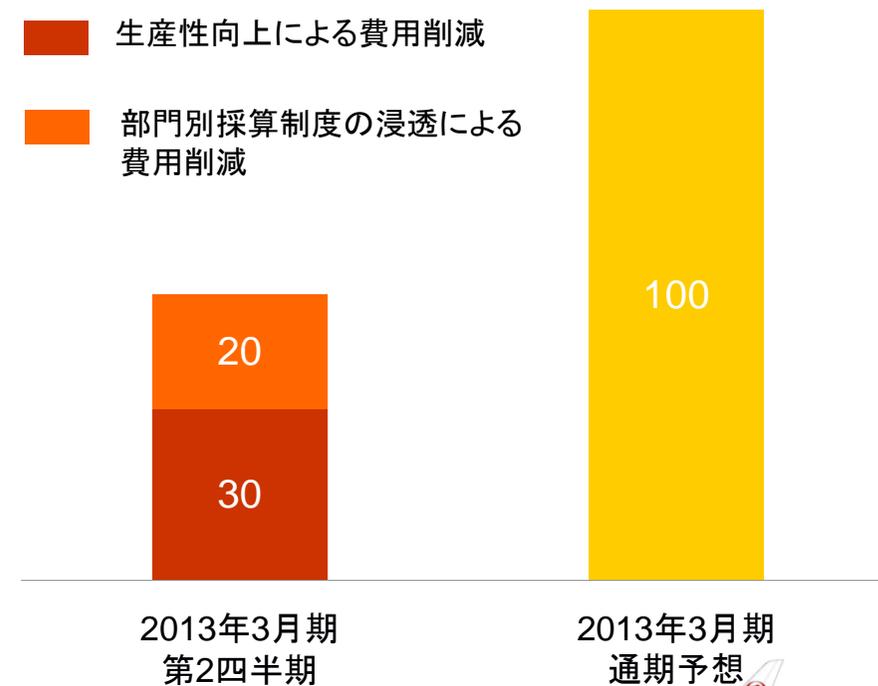
注:

1. ユニットコスト=航空運送連結費用/ASK

費用効率化の進捗状況

(億円)

- 生産性向上による費用削減
- 部門別採算制度の浸透による費用削減





JAPAN AIRLINES

2013年3月期 第2四半期 業績詳細

連結経営成績



JAPAN AIRLINES

- ✓ 営業収益6,342億円、営業利益1,121億円
- ✓ 売上高営業利益率は前年同期と同水準の17.7%

(単位:億円)	前年同期	第2四半期累計	前年同期比	第2四半期 ⁽¹⁾	前年同期比
営業収益	5,998	6,342	+5.7%	3,474	+0.7%
航空運送連結	5,394	5,677	+5.2%	3,104	+0.2%
営業費用	4,936	5,220	+5.7%	2,667	+4.2%
航空運送連結	4,407	4,689	+6.4%	2,380	+5.0%
営業利益	1,061	1,121	+5.7%	807	▲9.3%
航空運送連結	986	987	+0.1%	723	▲13.0%
営業利益率 (%)	17.7%	17.7%	+0.0pt	23.2%	▲2.6pt
経常利益	1,031	1,110	+7.7%	803	▲7.9%
四半期純利益	974	997	+2.4%	727	▲14.0%
RPK(百万人キロ)	25,245	28,541	+13.1%	15,154	+5.0%
ASK(百万席キロ)	38,520	40,795	+5.9%	20,844	+3.5%
EBITDAマージン (%) ⁽²⁾	24.6%	24.1%	▲0.5pt	29.2%	▲2.6pt
EBITDARマージン (%) ⁽³⁾	27.4%	26.6%	▲0.8pt	31.5%	▲2.7pt
ユニットコスト(円) ⁽⁴⁾	11.4	11.5	+0.1pt	11.4	+0.1pt

注:

1. 第2四半期(7-9月)の実績は第2四半期累計実績(4-9月)から第1四半期(4-6月)の実績を差し引いて算出
2. EBITDAマージン=EBITDA/営業収益 EBITDA=営業利益+減価償却費
3. EBITDARマージン=EBITDAR/営業収益 EBITDAR=営業利益+減価償却費+航空機材賃借料
4. ユニットコスト=航空運送連結費用/ASK



営業利益増減の推移

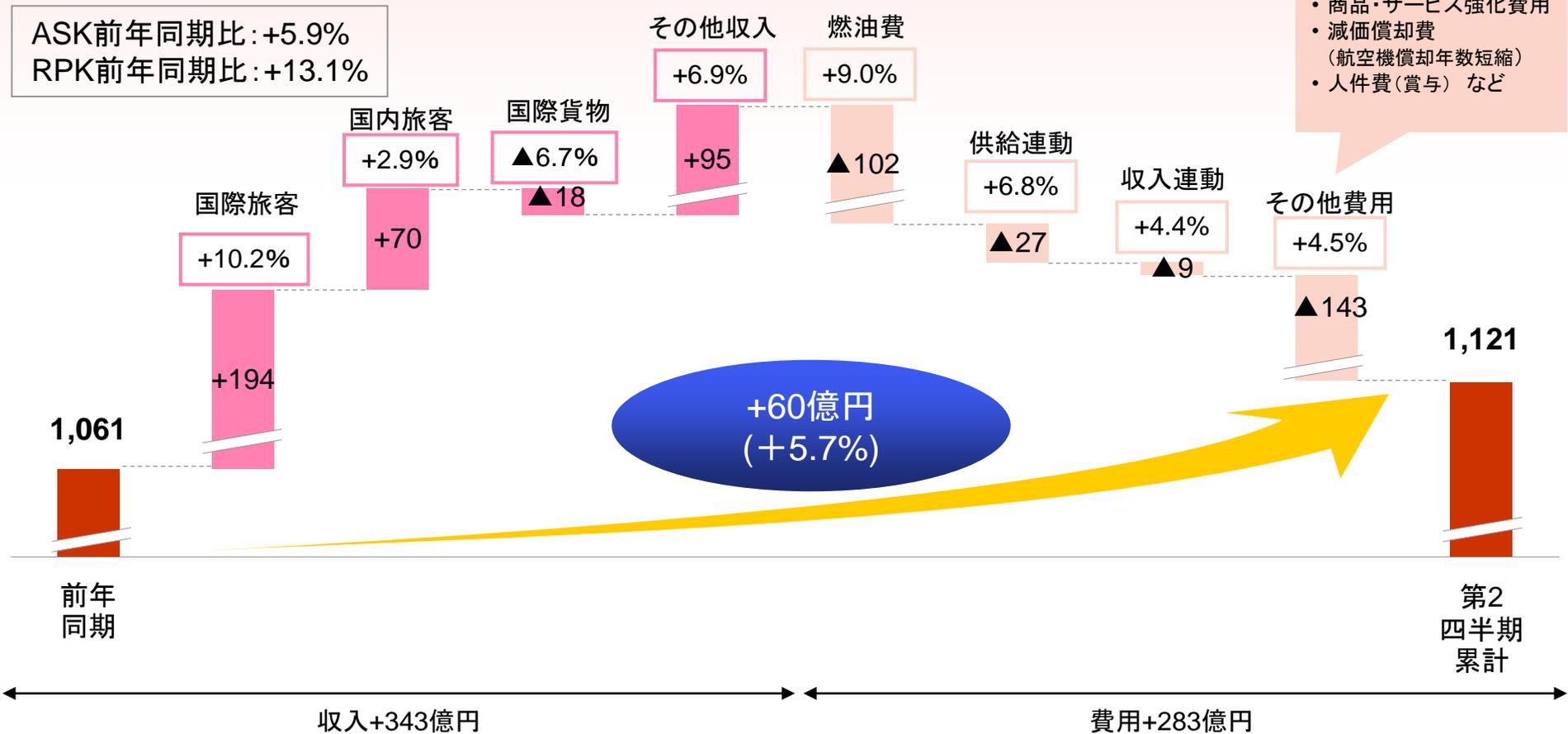


JAPAN AIRLINES

第2四半期累計

(単位:億円)

ASK前年同期比: +5.9%
RPK前年同期比: +13.1%



国際旅客事業(輸送実績)



JAPAN AIRLINES

国際線	前年同期	第2四半期累計	前年同期比	第2四半期	前年同期比
旅客収入(億円)	1,908	2,103	+10.2%	1,143	+2.2%
有償旅客数(千人)	3,210	3,778	+17.7%	1,975	+6.9%
RPK(百万人キロ)	14,391	16,852	+17.1%	8,890	+8.8%
ASK(百万席キロ)	21,167	22,127	+4.5%	11,273	+2.6%
座席利用率(%)	68.0%	76.2%	+8.2pt	78.9%	+4.5pt
ユニットレベニュー(円) ⁽¹⁾	9.0	9.5	+5.4%	10.1	▲0.4%
イールド(円) ⁽²⁾	13.3	12.5	▲5.9%	12.9	▲6.1%
単価(円) ⁽³⁾	59,445	55,657	▲6.4%	57,913	▲4.4%

注:

1. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
2. イールド=旅客収入/RPK
3. 単価=旅客収入/有償旅客数

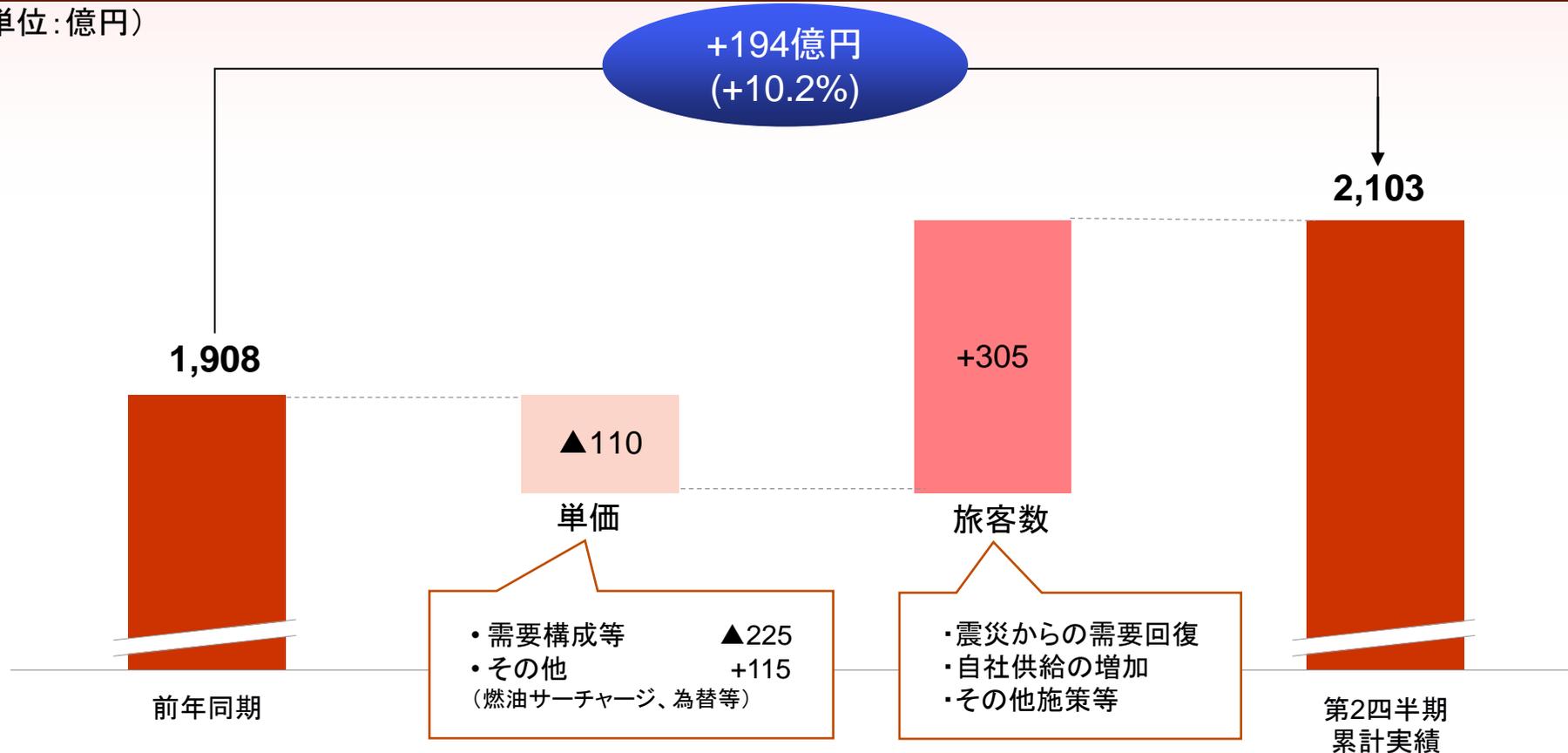


国際旅客事業(旅客収入の推移)

✓ 旅客数の増加を主因として、第2四半期累計で前年同期比194億円の増収

第2四半期累計

(単位:億円)



国内旅客事業(輸送実績)

国内線	前年同期	第2四半期累計	前年同期比	第2四半期	前年同期比
旅客収入(億円)	2,433	2,504	+2.9%	1,421	▲0.5%
有償旅客数(千人)	14,175	15,226	+7.4%	8,114	+1.3%
RPK(百万人キロ)	10,853	11,689	+7.7%	6,264	+0.1%
ASK(百万席キロ)	17,352	18,668	+7.6%	9,571	+4.5%
座席利用率(%)	62.5%	62.6%	+0.1pt	65.4%	▲2.8pt
ユニットレベニュー(円) ⁽¹⁾	14.0	13.4	▲4.3%	14.9	▲4.8%
イールド(円) ⁽²⁾	22.4	21.4	▲4.4%	22.7	▲0.6%
単価(円) ⁽³⁾	17,168	16,449	▲4.2%	17,523	▲1.8%

注:

1. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
2. イールド=旅客収入/RPK
3. 単価=旅客収入/有償旅客数

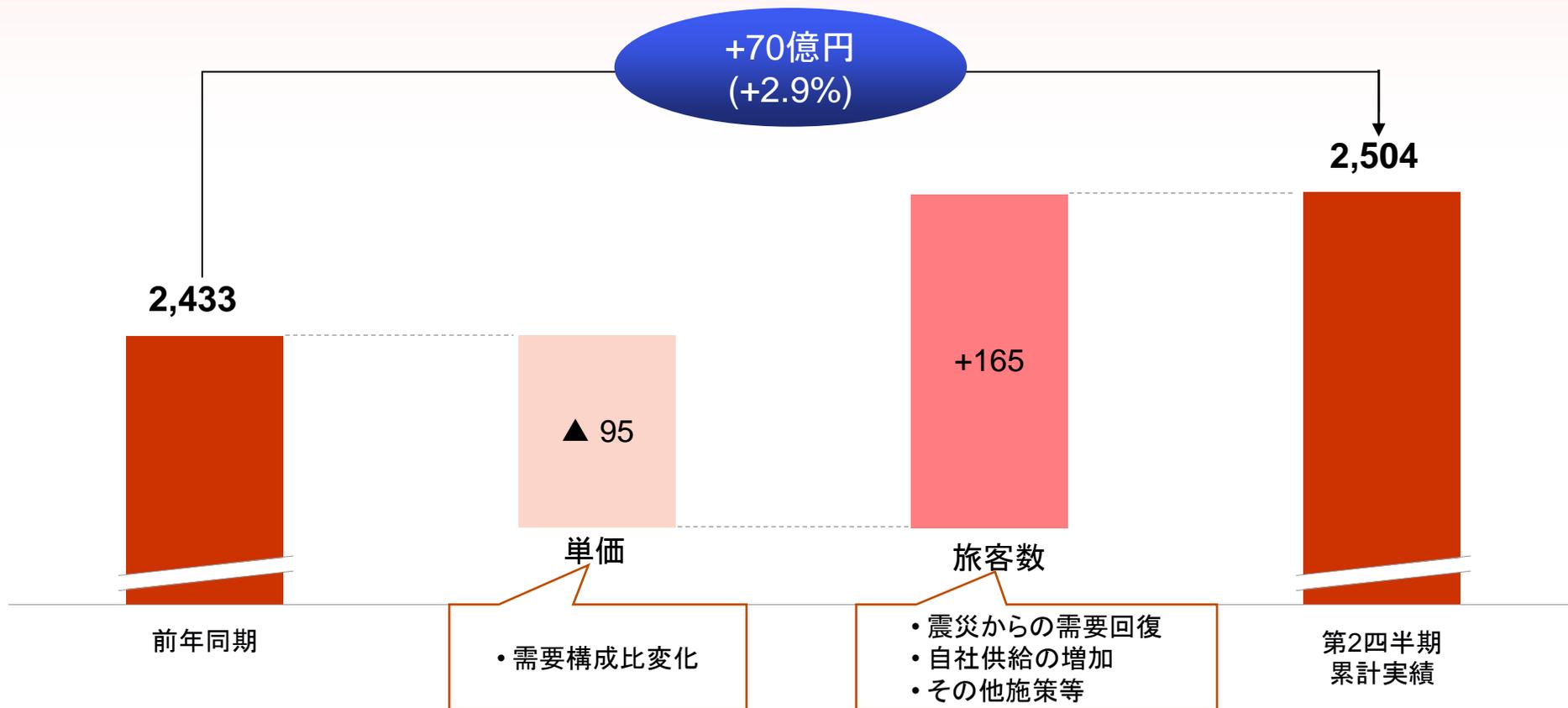


国内旅客事業(旅客収入の推移)

✓ 安定した国内旅客収入を維持し、第2四半期累計で前年同期比で70億円増

第2四半期累計

(単位:億円)



主要営業費用項目



JAPAN AIRLINES

営業費用内訳

(単位: 億円)	前年同期	第2四半期累計	前年同期比	第2四半期 ⁽¹⁾	前年同期比
燃油費	1,138	1,241	+9.0%	624	+3.2%
運航施設利用費	351	379	+8.0%	193	+5.4%
整備費	112	148	+31.6%	79	+49.4%
販売手数料	109	102	▲7.2%	51	▲9.7%
航空機材減価償却費	279	302	+8.2%	152	+8.7%
航空機材賃借料	165	157	▲4.5%	79	▲1.7%
人件費	1,047	1,129	+7.9%	564	+7.2%
その他	1,731	1,758	+1.5%	921	+1.0%
営業費用計	4,936	5,220	+5.7%	2,667	+4.2%

(参考)ASK 第2四半期累計前年同期比: +5.9%

燃油・為替前提

	前年同期	第2四半期累計	前年同期比
燃油: シンガポールケロシン(ドル/BBL)	129.9	125.0	▲3.7%
燃油: 日本入着原油(ドル/BBL)	112.7	115.6	+2.6%
為替: USドル(円/ドル)	80.2	80.3	+0.1%

注:

1. 第2四半期(7-9月)の実績は第2四半期累計実績(4-9月)から第1四半期(4-6月)の実績を差し引いて算出



燃油・為替の感応度 (営業利益ベース/ヘッジしない場合)

(億円)	FY11	FY12
原油 (1ドル/BBL変動)	20	20
為替 (1円/米ドル)	25	25

- ✓ 有利子負債残高は返済により1,842億円
- ✓ 自己資本比率は6.0pt増加の41.7%

(単位:億円)	前年度末 2012/3/31	当四半期末 2012/9/30	前年度末差
総資産	10,876	11,473	+597
現金及び預金	2,724	3,490	+765
有利子負債残高 ⁽¹⁾	2,084	1,842	▲242
自己資本	3,885	4,786	+901
自己資本比率 (%)	35.7%	41.7%	+6.0pt
D/Eレシオ(倍) ⁽²⁾	0.5x	0.4x	▲0.2x
ネットD/Eレシオ(倍) ⁽³⁾	▲0.2x	▲0.3x	▲0.2x

注:

1. 割賦未払金が含まれる
2. $D/Eレシオ = (\text{オンバランス有利子負債}) \div (\text{自己資本})$
3. $\text{ネットD/Eレシオ} = (\text{オンバランス有利子負債} - \text{現預金}) \div (\text{自己資本})$
小数第2位を四捨五入

(参考)

オフバランス未経過リース料:2,182億円

オフバランス未経過リース料込みのD/Eレシオ:0.8x、ネットD/Eレシオ:0.1x



キャッシュフロー



JAPAN AIRLINES

(単位:億円)	前年同期	第2四半期累計	前年同期差
税金等調整前四半期純利益	1,090	1,106	+16
減価償却費	415	407	▲7
利息の支払額	▲68	▲16	+51
法人税等の支払額	▲44	▲121	▲76
その他	▲171	154	+325
営業キャッシュフロー合計	1,221	1,529	+308
設備投資額 ⁽¹⁾	▲240	▲458	▲217
その他	287	17	▲269
投資キャッシュフロー合計⁽²⁾	46	▲440	▲487
フリーキャッシュフロー⁽³⁾	1,267	1,089	▲178
有利子負債返済 ⁽⁴⁾	▲446	▲234	+212
その他	14	▲80	▲94
財務キャッシュフロー	▲432	▲314	+118
キャッシュフロー合計⁽⁵⁾	835	774	▲60
EBITDA	1,476	1,529	+52
EBITDAR	1,642	1,687	+44

注:

1. 固定資産の取得による支出
2. 定期預金の入出金を除く
3. 営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー
4. 長期借入金の返済+リース債務の返済
5. 営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー+財務キャッシュフロー





JAPAN AIRLINES

2013年3月期通期 業績予想

2013年3月期業績予想(連結業績)



JAPAN AIRLINES

(単位: 億円)	FY11実績	FY12今回予想	FY12前回予想	増減額
営業収益	12,048	12,150	12,200	▲50
営業費用	9,998	10,500	10,700	▲200
営業利益	2,049	1,650	1,500	+150
経常利益	1,976	1,550	1,400	+150
当期純利益	1,866	1,400	1,300	+100

(単位: 億円)		FY12今回予想
営業収益	国際旅客収入	3,920
	国内旅客収入	4,820
	貨物郵便収入	840
	その他の収入	2,570
燃油費		2,520
燃油費以外		7,980
ユニットコスト(円)		11.5

	FY12今回予想
ASK(FY11実績を100として)	104.6
国際線	105.7
国内線	103.3
RPK(FY11実績を100として)	106.5
国際線	109.9
国内線	102.8
燃油前提(米ドル/BBL) シンガポールケロシン	130
為替前提(ドル/円)	85.0



2013年3月期業績予想(予想連結営業利益の修正)

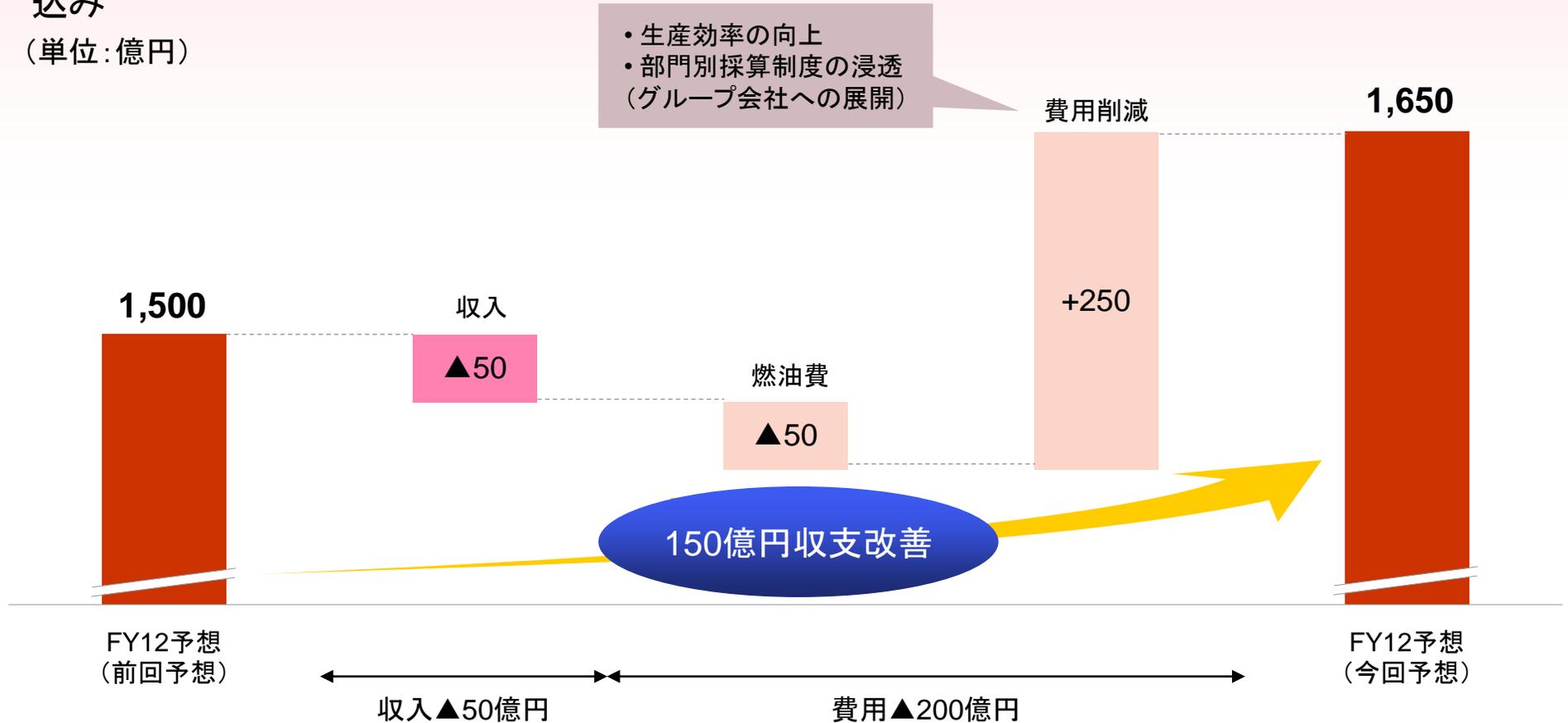


JAPAN AIRLINES

- ✓ 前回発表時(2012年9月19日時点)より営業利益は150億円改善し、1,650億円に上方修正
- ✓ 営業収益が50億円減少し、燃油費が50億円増加するが、その他費用項目で計250億円の削減の見込み

(単位:億円)

- 生産効率の向上
- 部門別採算制度の浸透(グループ会社への展開)



2013年3月期業績予想(連結貸借対照表/キャッシュフロー)



JAPAN AIRLINES

連結貸借対照表

(億円)	FY11末実績	FY12今回予想	FY11実績差
総資産	10,876	11,740	+863
有利子負債残高	2,084	1,750	▲334
自己資本	3,885	5,210	+1,324
自己資本比率 (%)	35.7%	44.4%	+8.7pt
ネットD/Eレシオ(倍) ⁽¹⁾	0.4x	0.0x	▲0.4x
ROA (%) ⁽²⁾	14.8%	11.3%	▲3.4pt

連結キャッシュフロー

(億円)	FY11実績	FY12今回予想	FY11実績差
営業キャッシュフロー	2,566	2,160	▲406
投資キャッシュフロー ⁽³⁾	▲624	▲1,110	▲485
フリーキャッシュフロー ⁽³⁾	1,941	1,050	▲891
財務キャッシュフロー	▲2,744	▲410	+2,334
EBITDA	2,861	2,450	▲411
EBITDAR	3,184	2,770	▲414

注:

1. ネットD/Eレシオ=(オンバランス有利子負債+オフバランス未経過リース料-現預金)/(自己資本)、予想値に関しては航空機未経過リース料予想値を用いる
2. ROA = 営業利益/(((期初総資産+期末総資産)+(期初オフバランス未経過リース料+期末オフバランス未経過リース料))/2)、予想値に関しては航空機未経過リース料予想値を用いる
3. 定期預金の入出金を除く





JAPAN AIRLINES

参考資料

《参考》国際線収入大路別実績



JAPAN AIRLINES

旅客収入(対国際線全体比率)

(単位:%)	前年同期	第2四半期 累計	前年同期 差	第2四半期	前年同期 差
太平洋線	33.0%	34.0%	+1.0pt	35.5%	+2.5pt
欧州線	20.0%	19.5%	▲0.5pt	20.0%	▲0.5pt
アジア・オセアニア	34.0%	34.5%	+0.5pt	33.5%	▲1.0pt
中国線	13.0%	12.0%	▲1.0pt	11.0%	▲1.0pt

有償旅客数

(単位:百人)	前年同期	第2四半期 累計	前年同期 比	第2四半期	前年同期 比
太平洋線	7,552	8,436	+11.7%	4,467	+5.8%
欧州線	3,036	3,411	+12.3%	1,799	+3.7%
アジア・オセアニア	15,755	19,708	+25.1%	10,248	+2.8%
中国線	5,758	6,232	+8.2%	3,234	+2.6%

ASK

(単位: 百万席キロ)	前年同期	第2四半期 累計	前年同期 比	第2四半期	前年同期 比
太平洋線	7,436	7,860	+5.7%	4,051	+6.6%
欧州線	4,133	4,205	+1.7%	2,150	+1.6%
アジア・オセアニア	7,968	8,387	+5.3%	4,230	+0.5%
中国線	1,629	1,672	+2.6%	840	▲1.9%

L/F

(単位:%)	前年同期	第2四半期 累計	前年同期 比	第2四半期	前年同期 比
太平洋線	75.6%	81.8%	+6.3pt	84.2%	+3.8pt
欧州線	69.1%	76.5%	+7.4pt	78.8%	+1.8pt
アジア・オセアニア	60.7%	71.9%	+11.3pt	75.1%	+6.3pt
中国線	66.4%	70.0%	+3.6pt	72.1%	+3.3pt

RPK

(単位: 百万人キロ)	前年同期	第2四半期 累計	前年同期 比	第2四半期	前年同期 比
太平洋線	5,619	6,433	+14.5%	3,411	+11.7%
欧州線	2,856	3,215	+12.6%	1,694	+4.0%
アジア・オセアニア	4,834	6,033	+24.8%	3,178	+9.6%
中国線	1,081	1,170	+8.2%	605	+2.8%

《参考》2013年3月期業績予想(航空運送事業)



JAPAN AIRLINES

(前年同期比%)	国際旅客			国内旅客		
	上期(実績)	下期(予想)	2012年度(予想)	上期(実績)	下期(予想)	2012年度(予想)
ASK	+4.5%	+6.9%	+5.7%	+7.6%	▲0.9%	+3.3%
RPK	+17.1%	+1.9%	+9.9%	+7.7%	▲1.9%	+2.8%
有償旅客数	+17.7%	▲3.7%	+6.3%	+7.4%	▲1.2%	+3.0%
座席利用率(%)	76.2% (+8.2pt)	69.5% (▲3.3pt)	72.7% (+2.3pt)	62.6% (0.1pt)	62.2% (▲0.6pt)	62.4% (▲0.3pt)
ユニットレベニュー(円) ⁽¹⁾	9.5 (+5.4%)	7.8 (▲12.4%)	8.6 (▲3.7%)	13.4 (▲4.3%)	12.9 (▲1.5%)	13.1 (▲3.0%)
イールド(円) ⁽²⁾	12.5 (▲5.9%)	11.2 (▲8.2%)	11.8 (▲6.8%)	21.4 (▲4.4%)	20.7 (▲0.5%)	21.1 (▲2.5%)
単価(円) ⁽³⁾	55,657 (▲6.4%)	51,914 (▲3.0%)	53,861 (▲4.3%)	16,449 (▲4.2%)	15,845 (▲1.4%)	16,151 (▲2.8%)

注:

1. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
2. イールド=旅客収入/RPK
3. 単価=旅客収入/有償旅客数

《参考》航空機保有数の推移



JAPAN AIRLINES

航空機数の推移(保有ベース)

	前年度末 2012/3/31			当四半期末 2012/9/30			増減
	所有	リース	合計	所有	リース	合計	
Boeing 777-200	15	0	15	15	0	15	--
Boeing 777-200ER	11	0	11	11	0	11	--
Boeing 777-300	7	0	7	7	0	7	--
Boeing 777-300ER	13	0	13	13	0	13	--
Boeing 787-8	2	0	2	6	0	6	+4
Boeing 767-300	17	0	17	16	0	16	▲1
Boeing 767-300ER	14	18	32	14	18	32	--
MD90	13	0	13	7	0	7	▲6
Boeing 737-400	16	2	18	16	2	18	--
Boeing 737-800	9	32	41	14	35	49	+8
Embraer 170	10	0	10	10	0	10	--
Bombardier CRJ200	9	0	9	9	0	9	--
Bombardier D8-400	7	4	11	7	4	11	--
SAAB340B	9	2	11	9	2	11	--
Bombardier D8-300	1	0	1	1	0	1	--
Bombardier D8-100	4	0	4	4	0	4	--
合計	157	58	215	159	61	220	5

《参考》路線・便数計画の更新情報



JAPAN AIRLINES

国際線			
【新規開設】			
路線	機材	変更内容(往復)	増便時期
成田=サンディエゴ	787-8	週間0便⇒週間4便	2012年12月2日～
		週間4便⇒週間7便	2013年03月(予定)
成田=ヘルシンキ	787-8	週間0便⇒週間4便	2013年02月25日～
		週間4便⇒週間7便	2013年度上期中(予定)

国内線		
【増便】		
路線	変更内容(往復)	変更時期
羽田=出雲	1日5便⇒6便	2012年10月28日～2013年2月28日
羽田=札幌	1日17便⇒18便	2013年3月1日～2013年3月30日
札幌=仙台	1日4便⇒5便	2012年10月28日～2013年3月30日
福岡=宮崎	1日9便⇒10便	2012年10月1日～

【増便/機材変更】		
路線	変更内容(往復)	変更時期
	機材	
【増便】成田=シンガポール	週間7便⇒週間14便 787-8	2012年10月28日～
【増便】成田=デリー	週間5便⇒週間7便 777-200ER	2012年10月29日～
成田=北京(869/860便)	737-800⇒767-300ER	2012年10月28日～
成田=上海(浦東)	737-800⇒767-300ER	2012年10月28日～
中部=上海(浦東)	737-800⇒767-300ER	2012年10月28日～
成田=台北(桃園)	767-300ER⇒737-800	2012年10月28日～
路線	変更内容(往復)	減便時期
成田=北京	週間14便⇒週間7便	2012年10月10日～ 11月17日
成田=上海(浦東)	週間21便⇒週間14便	
関西=上海(浦東)	週間14便⇒週間7便	

【減便】		
路線	変更内容(往復)	変更時期
羽田=那覇	1日14便⇒13便	2012年10月28日～
福岡=鹿児島	1日3便⇒2便	2012年10月1日～



誠にありがとうございました。

当資料に関するお問い合わせ先

日本航空株式会社

財務経理本部 財務部

電話番号 03-5460-3068

本資料には、日本航空株式会社(以下「当社」といいます)及びそのグループ会社(以下当社と併せて「当社グループ」といいます)に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が当該資料作成時点(又はそこに別途明記された時点)において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記述のためには、一定の前提・仮定を使用しています。これらの記述又は前提・仮定は当社経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものであり、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明し、あるいは将来において実現しないことがあります。したがって、当社グループの実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、日本その他の国・地域における経済社会状況、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。本資料に掲載されている将来情報に関する記述は、上記のとおり当該資料の作成時点(又はそこに別途明記された時点)のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。本資料への当社グループに関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は日本航空株式会社に属します。